



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和6年4月24日 No. 2
園長 安藤賢治

命と向き合って ~託された未来~

(個人的に、命と向き合う時を過ごしました)

■ “時間が止まる” ……これまでと違う景色になる…

➢ 「一番大切なのは、“いのち”と子供たちに伝えています。

その命は、有限です。有限ですから、限りあるものです。



「いつかは、その時が」の覚悟を確認されたような感覚を覚えました。

“生きざま”が、蘇り伝わってきていました (心から 合掌礼拝)

➢ 私も含めて、受け止める者たちの“これから”に託されたのでしょう。「大丈夫だね」って…

* * *

◆今年度、34名の“命”を預かっています。

「これから」という可能性無限の“命”です。

この世に生を受けて“今を生きる”子らとの幼稚園生活は、毎日の時間はもちろん、一緒に生活するお友達の成長とも決して同じではなく、それぞれがその時間(今)を自分のものとして“生きている”貴重な時が流れています。

…だからこそ、私たち職員は やりがいを感じる のです。



◎ 4月「新たな出会い」を感じて、“なんだか違うぞ!”を表している子供たちです。

*たんぽぽ組

- ・「外で遊びたい」「先生、一緒に遊ぼう」なにより、幼稚園が“楽しそう”です。
- ・「園長先生～、これ見て」と自分の持ち物や遊んでいる物を見せてくれます。広がる世界がうれしいのでしょうか。

*ひまわり組

- ・「今はこうするのだよ」としっかりやろうとしてできていることを見せてくれます。給食後に教室の後方へ椅子を持って行って絵本を読むとか遊戯室への移動の時など、先生の声掛けがいらなくなっています。

*なでしこ組

- ・年長になったことが、よほどうれしいのでしょう『お当番さん』をやる姿がピカピカです。昨年末、引継ぎ活動で教えてもらっていたのでスムーズです。
- ・お話を聞く時の姿勢(椅子の向きなど)も、バッチリです。先日来園した前担任:竹下先生も、かなり驚いていました。

